

社会科の窓 VOL 15

令和4年3月8日

京都市立稲荷小学校 校長 吉山 茂樹

～豊かな自然を生かす宮津市（4年）～PART 2～



本時では、話し合い活動から入りました。

コロナ禍の中で、宮津市はどのような工夫をして、観光をもり上げているのだろうか。

と、いう学習問題を確認して、まずグループで交流してからクラス全体で話し合いました。



話し合いの様子



C:ユーチューブなどのオンラインで、又のぞきなどを紹介したら良いと思います。

C:私も賛成で、きれいなイルミネーションも紹介できると思います。

C:海のおいしい幸も紹介していきたいです。

C:オンラインだけでなく、本や雑誌でも紹介したら良いと思います。

一つ目のキーワード、

PR・広報していくという考えが出ました。

C:イベントでは、クイズやスタンプラリーをして正解したらおみやげがゲットできたら良いと思います。

C:イベントの中で、コロナ対策の劇をすれば良いと思います。

C:宮津市を巡るツアーのようなものがあれば良いと思います。

二つ目、三つ目のキーワードとして、コロナ対策をしながらイベントをするという考えが出ました。

C:安心して観光に来てもらうには、感染対策が必要だと思います。消毒をしてもらったり、体温を測ってもらったりしたら良いと思います。その上でイベントをすれば良いと思います。

C:密を避け、間隔をあけてもらうようにしたら良いと思います。

C:お店には、アクリル板を置いてもらった方が良いと思います。

子どもたちはしっかり話し合うことができました。次に、確かめる活動に入っていきます。指導者が集めた、チラシやパンフレットを調べてみました。



食い入るように資料を見る子どもたち

- ・ 天橋立に泊ったら、抽選で飲食店やおみやげやさんで使える金賞が当たるキャンペーンをしている。
 - ・ 自転車でガイドツアーをしている。
 - ・ シーカヤック体験ができる。
- やっぱり工夫しているんだ。

本当ならこれで十分なのですが、子どもたちにもっと身近に感じさせるために、天橋立の事務局長さんにインタビューした動画を見せました。



- ・ 教育旅行（修学旅行）の誘致をしています。その時に、松葉清掃の体験をしてもらうことで、松の保護にもつながっています。
- ・ イーバイクをレンタルしています。
- ・ 私自身もユーチューブで動画配信しています。

このようにして、実際に天橋立の観光協会の方の取組を知ることで、子どもたちの理解がより深まりました。

～子どものふりかえりから～抜粋

～板書～

- ・ コロナの中でもできることをしっかりとて、新しいことに、チャレンジする姿は、前の宇治市と一緒にだと思いました。
- ・ シーカヤック体験のチラシみたいに、私たちの稲荷でもチラシを作れば良いと思いました。

